

みんなで子育て推進事業

●自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け

<地域における実情と課題>

男性の家事・育児時間が少ないと第2子以降の出生割合が低くなる調査結果より、本市では少子化対策として男性の家事・育児参画を推進する事業に取り組んでいる。平成30年度に行った和歌山市子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査において、仕事と子育ての両立で大変だと思ふ事柄について、「職場での理解や協力が得られない」及び「配偶者の協力が得られない」「家族や親族の理解が得られない」との回答が比較的多いこともあるように、仕事と育児・家事の両立のためにも引き続き男性の子育てを推進する取組が必要であると考える。

また、育児の孤立化を防ぐためにも、育児・家事を社会全体で行うことをこれまで以上に必要とされ、みんなで協力して家事・育児・仕事を行うためには、家庭における取組と職場・企業への取組の両方が必要と考える。

<本個別事業の位置付け>

本市では、平成29年度には「第5次和歌山市長期総合計画」が策定され、将来都市像を「きらり 輝く 元気和歌山市」と定め、実現のため4つの分野別目標を示している。その中のひとつである「子供たちがいきいきと育つまち」を実現するための施策として、安心して子供を産み育てることのできる環境の整備に取り組んでいる。「みんなで子育て推進事業」は、その取組として重要な事業である。

また、令和2年3月に「第2期和歌山市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、人口減少に歯止めをかけ、将来に向かって活力ある和歌山市を維持するため4つの基本目標を掲げている。その中のひとつである「子供たちがいきいきと育つまち」の基本施策として、

1. 家庭や地域で取り組む子育て環境づくり
2. 子供が健やかに育つことのできる環境づくり
3. 保護・援助を必要とする子供への支援
4. 結婚から子育てにつなげる社会づくり

「みんなで子育て応援事業」について、上記基本施策の4に位置付けられている。

(本個別事業における現状と課題)

男性の家事・育児参画を推進するために、主に子育て当事者向けに、家庭において夫婦・家族がパートナーシップについて考え、お互い協力して家事・育児・仕事を行うことの大切さを考えるきっかけとなるようなワークショップを行っている。

【課題】

令和4年度の取組後の参加者アンケートにおいて、仕事復帰した場合の話や子供の年代別に分かれた話などより具体的な内容を聞きたかったとの意見があった。

(課題への対応)

ワークショップ等の内容を、詳細に設定することで、対象者により参加してみようと思わせる工夫を行う。

●取組内容

・セミナー・ワークショップの開催

主に夫婦や子育て中の方を対象に、夫婦・家族が協力して家事・育児を行うことの大切さについて考えるきっかけづくりとなるようなワークショップやセミナーを3回行う。対象者がより参加しやすくするために、子連れでも参加できるように託児も可能な方法で実施。また、内容を、赤ちゃんの親向け、共働き世帯向けなど、同じような生活環境の家族が一緒に取り組むことができるような内容に設定し、参加者を募る。周知方法としては、委託業者からの広報に加え、和歌山市 LINE 公式アカウントや子育て支援課インスタグラム等の SNS を活用した広報のほか、地域子育て支援拠点施設や保健センター、子育てひろば等にチラシを設置し広報する。

※定員：1回目28名（夫婦の場合14世帯）、2回目30名（家族の場合15世帯）、3回目28名（夫婦の場合14世帯）